



少年センターだより



令和3年9・10月号(第414号)

毎月1日「少年の日」 ☆育て少年心豊かにたくましく! 第3日曜日「家庭の日」 ☆咲かせよう明るい会話, 家族の輪

「ココロなっこ運動強調月間」の取組について(報告)

7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に伴い、長崎県では「ココロなっこ運動強調月間」が展開されました。今号では、期間中に実施された大村市内の主な取組を紹介します。

メディア安全指導

全国強調月間の最重点課題は「ペアレンタルコントロール等によるインターネット利用に係る子供の犯罪被害等の防止」でした。少年センターでは、7月に市内の小・中学校数校に講師を派遣して、「メディア安全指導講話」を実施しました。また、「ネット・電子メディア利用ながさき基準」リーフレット等を各校に配付し、啓発を行いました。



立入調査

少年センターと市安全対策課が中心となり、大村市健全協、大村市補導協、大村市PTA連合会、市内中学校・高校の代表の先生方に協力していただき、立入調査を実施しました。この調査では、書店やコンビニ、DVD等を扱う店舗、カラオケボックスやゲームセンター、携帯電話販売店等を訪問し、県少年保護育成条例に則って営業されているかを確認しました。7月中に市内67店舗の調査を実施しました。

白ポスト(有害図書類)回収

大村市内4カ所(大村駅、竹松駅、バスターミナル、サンスパおおむら)に設置している白ポストに投棄された有害図書類を回収しました。7月の回収数は以下のとおりです。

有害図書	有害DVD	その他	合計
80	27	8	115



非行事故防止キャラバン

市内の各健全協と少年センターでそれぞれの小学校区を巡回し、青少年の非行・被害防止の広報活動や集団下校の見守り、危険箇所の点検等を行いました。今年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、規模を縮小して実施しました。



その他、登下校時の児童生徒の見守り活動、大村警察署による薬物乱用防止教室、各地区での定期街頭補導など、多くの方の協力を得て子どもたちの非行・被害防止の取組を進めることができました。今後も大人の力を結集して子どもたちのために力を注いでいきたいと思います。

「子ども110番の家」について



不審者の声かけ事案などが発生した時に、子どもたちが逃げ込めるように「子ども110番の家」が設置されています。大村市内には、店舗や個人宅、民生委員・児童委員のご家庭を合わせて現在350件以上の登録があります。目印は黄色い旗で、玄関先などに表示してあります。もしも子どもが助けを求めてきたら、子どもを保護し、状況を聞き取り、110番通報や家庭と学校への連絡などを行います。校区や通学路のどの辺りにあるか、お子さんと一緒に確認をして、何かあったときには逃げ込むなど、各ご家庭で話し合っておくとよいでしょう。登録していただいている皆様、旗の交換やマニュアルの再配布などのご要望があれば、少年センターまでご一報ください。

＜ 連載コラム ＞

東京オリンピックが開催され、連日のように日本選手の活躍が放映されました。

本市出身の広中璃梨佳選手も陸上女子5000メートルは9位（日本新記録）、10000メートルでは7位入賞を果たしました。24日からはパラリンピックも開催されます。

しかし、このように、ひのき舞台で活躍できる選手はほんのわずかで、その舞台に立つことも、近づくこともできなかった選手が数多くいます。

個人によって大きく違うとは思いますが、夢が叶った選手も、そうでない選手も、ここにいたるまでの「倒れそうになるくらいの練習の積み重ね」「やめたいほどのスランプや挫折」「期待への重圧」「学業や仕事との両立」「仲間やライバルとの切磋琢磨や人間模様」「ハンディとの戦い」の中で、競技者としてはもちろん、人として「成長」できてきたのではないのでしょうか。

試合後のインタビューの中で、「今日この日があるのは、ここまで指導してきていただいた〇〇コーチ（先生）、家族をはじめ多くの方々のお陰です」との「感謝のコメント」を多く目にしました。それを、目に耳にして、その選手の人としてのすばらしさにふれるとともに、今後の活躍にエールを送りたい思いがふくらんできました。

人は、自分一人では成長できません。多くの人の指導や支えがあってこそ成長し、生きていくことができるのです。

努力した結果も大切ですが、見えないところで育ててくださっている多くの方々への「感謝の心」を心から持てる選手や人こそ「すばらしい」、さらには、その選手や人を支えた方々こそ「尊敬に値する」と心から思います。

コロナ禍の中、開会が懸念されましたが、このオリンピックで、参加した選手たちは私たちに多くの感動や夢を与えてくれました。不安や困難を越えてきた選手たちの喜びや涙は、痛いほど私たちの心に響きました。

今回の東京オリンピックの余韻の中、これから先、自らの夢や目標に向かって羽ばたいていくであろう子どもたちの「今できる未来への紡ぎ（つむぎ）」を、これからも応援していきたいと私自身心も新たにしたところです。

＜ ひびK・I ＞



青少年に関する相談は少年センター（月～金 8:30～17:30）へ
☆相談電話(ヤングテレフォン)0957-49-5263
☆Eメール相談 : kiitekudasai@city.omura.nagasaki.jp